

伝道活動の祝福

次の聖句と言葉を研究し、以下のことを調べましょう。

1. わたしたちの伝道活動を通して、主が「人々に」お授けになれる祝福。
2. 伝道に出ることで主が「わたしたちに」お授けになれる祝福。

教義と聖約4：1-4

教義と聖約15：6

教義と聖約18：14-16

教義と聖約31：3-8

教義と聖約50：22

ラッセル・M・ネルソン大管長は、次のように教えています。



「兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストの福音が今日ほど必要とされている時はありません。争いは救い主が擁護し教えられたすべてのことに反しています。わたしは主イエス・キリストを愛しており、主の福音が平和を得るための唯一の永続的な解決策であることを証します。主の福音は平和の福音です〔教義と聖約27：16参照〕。……

すべての宣教師は救い主について教え、証します。この世の霊的な暗闇により、イエス・キリストの光が今までにないほど必要です。だれもがイエス・キリストの回復された福音について知る機会を与えられるに値します。すべての人が『人知ではどうてい〔測り知ることのできない〕』（ピリピ4：7）希望と平安をどこで見いだせるかを知るに値するのです。」（ラッセル・M・ネルソン「平和の福音を宣べ伝える」『リアホナ』2022年5月号、6、7）

七十人のマーカス・B・ナッシュ長老は、次のように教えています。



「福音を分かち合うことで、与える側と受ける側双方の心に喜びと希望がとまります。まさに、福音を分かち合うときに、『あなたがたの喜びはいかに大きいこと』でしょうか〔教義と聖約18：15〕。福音を分かち合うことで、喜びに次ぐ喜び、希望に次ぐ希望がもたらされるのです。……

福音の光を掲げることを選ばないでいると、影の中に入ることになり、誘惑に陥りやすくなってしまいます。重要なのは、その逆も真実であるということです。福音の光を掲げることを選ぶなら、さらに光の中へ入り、誘惑から守られるのです。今日の世の中において、何と大きな祝福でしょうか。」（マーカス・B・ナッシュ「あなたがたの光を掲げなさい」『リアホナ』2021年11月号、71-72）